

2050カーボンニュートラル連続セミナー

第2期

2050年カーボンニュートラル実現へ建築家がやるべきことは何か

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロを昨年末に政府が目標として掲げて以来、各分野の動きが急になっています。その実現のためにJIAの建築家が率先してやるべきことは何なのか。今こそ、環境の形成や持続可能性に関わる専門家として、共に考え、共に答えを出そうではありませんか。2050年カーボンニュートラルに向けて、JIA会員が先頭に立って建築界の智恵と力を結集して実践してまいりましょう。JIA会長 六鹿正治

第2回

山と相談する建築のすすめ

「2050年の山の姿」から考える「これから30年の木造・木質建築」

2021年11月25日 (木) 18:00-20:00



腰原幹雄 Mikio Koshihara
東京大学生産技術研究所 教授
 東京大学大学院博士課程修了
 1994年 構造設計集団<SDG>
 2012年 東京大学生産技術研究所・教授
 NPO team Timberize 前理事長
 日本建築学会賞(業績)、日本構造デザイン賞、
 WMF Knoll Modernism Prize、他受賞

脱炭素を目指す方法として「省エネ・再エネ」と「森林吸収」は双壁と考えられます。第1期セミナーでは前者を、第2期セミナーでは後者およびLCA(ライフサイクルアセスメント)を主なテーマとしています。温暖化対策の理論的主流は「省エネ・再エネ」先行の傾向にありましたが、近年「森林吸収」が盛り上がりを見せています。森林吸収・木材利用・建築分野の温室効果ガス対策について体系的に語って頂くことのできる第一人者の2名の先生をお招きしました。



網野禎昭 Yoshiaki Amino
法政大学デザイン工学部 教授
 スイス連邦工科大学ローザンヌ校Dr. sc. tech.
 1999年 スイス連邦工科大学EPFL-IBOIS助手
 2004年 ウィーン工科大学専任教員
 2010年 法政大学デザイン工学部・教授
 2019-2020年 林政審議会委員
 Schweighofer Prize、グッドデザイン・ベスト100、他受賞

森林国の地域の建築家としては、木造建築の構法は、その時々山の状況と切り離して考えることはできません。構造材となる製材、エンジニアードウッド。仕上げや構造に使われる板材、合板、木質加工版などなど。大きくはカーボンニュートラルに寄与するといえる木造建築生産の中で、構法による効果の違いや設計者として気を付けるべきポイント、当面のゴールとされる2050年に山がどうなっているのかを考えることで、参加者の方と共に、これから30年の木造・木質建築のあり方をイメージしつつ幅広い知見を得る機会にしたいと思います。

会場：オンライン／ZOOM Webinar
 定員：1000名(PC1000台)／JIA会員・会員外とも可
 参加費：無料(複数名同室視聴可)
 CPD：CPD認定プログラム (2単位)

申込QRコード▶



※CPD単位付与に必要なCPDIDを申込フォームに必ず記入してください。

申込方法：URLをクリック又はQRコードからお申込みください

申込URL：<https://forms.gle/tLEft3pjNhpckmEA>

※過去のおで申込済みの方は重複の必要はありません。

- <注意事項>
- ・ミーティング参加者名は申込者名としてフルネームとして下さい。
例：山田花子/漢字等日本語
 - ・セミナーは録画しますので予めご了承下さい。
 - ・参加者の方の録音、録画は固くお断り致します。
 - ・諸事情でご視聴頂けなかった場合、主催側の当日対応はできません。
お申込者に限り、後日配信を検討させていただきます。

< 接 続 > 当日17：30～接続できます。直前に集中しないよう早めの接続をお願いします。

<第1期セミナー概要>

- ・第1回：7/ 8(木) 講師：前真之氏
- ・第2回：7/15(木) 講師：山田貴宏氏
- ・第3回：7/22(木) 講師：諸富徹氏
- ・第4回：8/12(木) 講師：竹内昌義氏・新井優氏
- ・第5回：8/19(木) 講師：伊礼智氏
- ・第6回：8/26(木) 講師：田辺新一氏

<第2期セミナー概要>

- ・第1回：11/11(木) 講師：伊香賀俊治氏

<第1期セミナー動画公開URL>

<http://www.jia.or.jp/news/detail.html?id=1321>